

04 25
26

外国無声映画 コレクション特集

2015年04月25日(土)、26日(日)



フランスとミスタンゲット

25日(土) 14:00-15:34

マックスの快癒
Max en convalescence

10分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1911 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー | マックス・ランデーの家族

マックスの電話結婚 (電話交換手)
Un Mariage au téléphone

4分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・出 | マックス・ランデー
出 | スターシャ・ナビエルコフスカ

フランスとミスタンゲット
Les timidités de Rigadin

8分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1910 (フランス / スカグロ) 監 | ジョルジュ・モンカ
出 | シャルル・フランス, ミスタンゲット

マックスとピアノ
Max maîtresse de piano

15分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | リュシアン・ノンゲ
出 | マックス・ランデー

マックスの近視眼
Le duel d'un monsieur myope

6分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | ルイ・ガスニエ
出 | マックス・ランデー

マックスと犬
Max et son chien Dick

9分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー
出 | ジェーン・ルヌアール, アンリ・ボスク, 犬のディック

巨人征服を除く無声映画作品
はすべてピアノ伴奏付き

出演 | 柳下美恵 (ピアノ即興伴奏)
*「巨人征服」は解説版

25日(土) 16:00-17:25

マックスの快癒
Max en convalescence

10分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1911 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー | マックス・ランデーの家族

マックスの電話結婚 (電話交換手)
Un Mariage au téléphone

4分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・出 | マックス・ランデー
出 | スターシャ・ナビエルコフスカ

フランスとミスタンゲット
Les timidités de Rigadin

8分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1910 (フランス / スカグロ) 監 | ジョルジュ・モンカ
出 | シャルル・フランス, ミスタンゲット

マックスとピアノ
Max maîtresse de piano

15分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | リュシアン・ノンゲ
出 | マックス・ランデー

マックスの近視眼
Le duel d'un monsieur myope

6分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | ルイ・ガスニエ
出 | マックス・ランデー

マックスと犬
Max et son chien Dick

9分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー
出 | ジェーン・ルヌアール, アンリ・ボスク, 犬のディック

巨人征服を除く無声映画作品
はすべてピアノ伴奏付き

出演 | 柳下美恵 (ピアノ即興伴奏)
*「巨人征服」は解説版

25日(土) 14:00-15:34

マックスの快癒
Max en convalescence

10分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1911 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー | マックス・ランデーの家族

マックスの電話結婚 (電話交換手)
Un Mariage au téléphone

4分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・出 | マックス・ランデー
出 | スターシャ・ナビエルコフスカ

フランスとミスタンゲット
Les timidités de Rigadin

8分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1910 (フランス / スカグロ) 監 | ジョルジュ・モンカ
出 | シャルル・フランス, ミスタンゲット

マックスとピアノ
Max maîtresse de piano

15分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | リュシアン・ノンゲ
出 | マックス・ランデー

マックスの近視眼
Le duel d'un monsieur myope

6分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | ルイ・ガスニエ
出 | マックス・ランデー

マックスと犬
Max et son chien Dick

9分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー
出 | ジェーン・ルヌアール, アンリ・ボスク, 犬のディック

巨人征服を除く無声映画作品
はすべてピアノ伴奏付き

出演 | 柳下美恵 (ピアノ即興伴奏)
*「巨人征服」は解説版

25日(土) 16:00-17:25

マックスの快癒
Max en convalescence

10分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1911 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー | マックス・ランデーの家族

マックスの電話結婚 (電話交換手)
Un Mariage au téléphone

4分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・出 | マックス・ランデー
出 | スターシャ・ナビエルコフスカ

フランスとミスタンゲット
Les timidités de Rigadin

8分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1910 (フランス / スカグロ) 監 | ジョルジュ・モンカ
出 | シャルル・フランス, ミスタンゲット

マックスとピアノ
Max maîtresse de piano

15分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | リュシアン・ノンゲ
出 | マックス・ランデー

マックスの近視眼
Le duel d'un monsieur myope

6分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1910 (フランス / パテ・フレール) 監 | ルイ・ガスニエ
出 | マックス・ランデー

マックスと犬
Max et son chien Dick

9分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版 (日本語字幕)
1912 (フランス / パテ・フレール)
監・脚・出 | マックス・ランデー
出 | ジェーン・ルヌアール, アンリ・ボスク, 犬のディック

巨人征服を除く無声映画作品
はすべてピアノ伴奏付き

出演 | 柳下美恵 (ピアノ即興伴奏)
*「巨人征服」は解説版

26日(日) 14:00-15:03

除夜の悲劇は限定された場所と時間のなかで、字幕に頼らず、登場人物のしぐさや表情の変化を丹念に捉えることで映像表現の可能性を追求したドイツの「室内劇映画」の代表作。カフェを経営する男が、妻と実母の確執に苦悩し、悲劇的な末路をたどる。グリム病氣療養のために南国を訪れたハロルドがさまざまな危機に遭遇する喜劇映画。

巨人征服 (鳥羽版 / 解説版)
Why Worry?

29分 | 24fps | 35mm | 白黒
1923 (アメリカ / ハル・E・ローチ・スタジオ)
監 | フレッド・ニューメイヤー 監・脚 | サム・テイラー
脚 | H.M.ウォーカー 脚 | ウォルター・ランディン
出 | ハロルド・ロイド, ジョービーナ・ラルストン, ジョン・アーセン, ジム・メイソン

今度の下女
La nuova cameriera

7分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1912 (イタリア / アンブロージオ)
監・脚・出 | ヴィクトラン・ジャッセ
原 | レオン・サジー 脚 | ラヴェ
出 | アレクサンドル・アルキリエール, アンドレ・リアアベル, シャルル・クロース, ジョゼット・アンドリオ

さらば青春
Addio giovinezza!

78分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒 | イタリア語
[デジタル復元版] (日本語字幕)
監 | ルア・ピック 脚 | カール・マイヤー
脚 | カール・ハッセルマン, グイド・ゼーバー
原 | ロベルト・A・ティートリヒ, クラウス・リヒター
出 | オイゲン・フレッパ, エディット・ボスカ, フリーダ・リヒャルト, ルドルフ・ブリュマー

ラプンツェル
Rapunzel

3分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | ドイツ語
1908 (ドイツ / ハインリヒ・エルネマン)
出 | アーミン・シュヴァイツァ

今度の下女
La nuova cameriera

7分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1912 (イタリア / アンブロージオ)
監・脚・出 | ヴィクトラン・ジャッセ
原 | レオン・サジー 脚 | ラヴェ
出 | アレクサンドル・アルキリエール, アンドレ・リアアベル, シャルル・クロース, ジョゼット・アンドリオ

さらば青春
Addio giovinezza!

78分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒 | イタリア語
[デジタル復元版] (日本語字幕)
監 | ルア・ピック 脚 | カール・マイヤー
脚 | カール・ハッセルマン, グイド・ゼーバー
原 | ロベルト・A・ティートリヒ, クラウス・リヒター
出 | オイゲン・フレッパ, エディット・ボスカ, フリーダ・リヒャルト, ルドルフ・ブリュマー

ラプンツェル
Rapunzel

3分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | ドイツ語
1908 (ドイツ / ハインリヒ・エルネマン)
出 | アーミン・シュヴァイツァ

今度の下女
La nuova cameriera

26日(日) 15:30-16:52

ラプンツェル
Rapunzel

3分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | ドイツ語
1908 (ドイツ / ハインリヒ・エルネマン)
出 | アーミン・シュヴァイツァ

今度の下女
La nuova cameriera

7分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1912 (イタリア / アンブロージオ)
監・脚・出 | ヴィクトラン・ジャッセ
原 | レオン・サジー 脚 | ラヴェ
出 | アレクサンドル・アルキリエール, アンドレ・リアアベル, シャルル・クロース, ジョゼット・アンドリオ

さらば青春
Addio giovinezza!

78分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒 | イタリア語
[デジタル復元版] (日本語字幕)
監 | ルア・ピック 脚 | カール・マイヤー
脚 | カール・ハッセルマン, グイド・ゼーバー
原 | ロベルト・A・ティートリヒ, クラウス・リヒター
出 | オイゲン・フレッパ, エディット・ボスカ, フリーダ・リヒャルト, ルドルフ・ブリュマー

ラプンツェル
Rapunzel

3分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | ドイツ語
1908 (ドイツ / ハインリヒ・エルネマン)
出 | アーミン・シュヴァイツァ

今度の下女
La nuova cameriera

7分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1912 (イタリア / アンブロージオ)
監・脚・出 | ヴィクトラン・ジャッセ
原 | レオン・サジー 脚 | ラヴェ
出 | アレクサンドル・アルキリエール, アンドレ・リアアベル, シャルル・クロース, ジョゼット・アンドリオ

さらば青春
Addio giovinezza!

78分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒 | イタリア語
[デジタル復元版] (日本語字幕)
監 | ルア・ピック 脚 | カール・マイヤー
脚 | カール・ハッセルマン, グイド・ゼーバー
原 | ロベルト・A・ティートリヒ, クラウス・リヒター
出 | オイゲン・フレッパ, エディット・ボスカ, フリーダ・リヒャルト, ルドルフ・ブリュマー

ラプンツェル
Rapunzel

3分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | ドイツ語
1908 (ドイツ / ハインリヒ・エルネマン)
出 | アーミン・シュヴァイツァ

今度の下女
La nuova cameriera

7分 | 18fps | 35mm | 無声 | 染色 | 英語版
1912 (イタリア / アンブロージオ)
監・脚・出 | ヴィクトラン・ジャッセ
原 | レオン・サジー 脚 | ラヴェ
出 | アレクサンドル・アルキリエール, アンドレ・リアアベル, シャルル・クロース, ジョゼット・アンドリオ

MOVIE FILMS

06 27
28

Film Treasures from The Museum of Modern Art

2015年06月27日(土)、28日(日)

MoMA ニューヨーク 近代美術館映画 コレクション



フラッシング・メドウズ

27日(土) 14:00-15:30

フラッシング・メドウズ
Flushing Meadows

8分 | 16mm | 無声 | カラー
現代アート作家として知られるジョセフ・コーネルが、友人である家出少女ジョイス・ハンターの死を悼んで撮った哀悼の映画。コーネル最後の映像作品で、長く所在不明とされていたが、ジョセフ・アンド・ロバート・コーネル記念財団がMoMAに寄贈した映画の中から2003年に復元された。

1965 監 | ジョセフ・コーネル
脚 | ラリー・ジョーダン

©2014 The Andy Warhol Museum, Pittsburgh, PA, a museum of Carnegie Institute. All rights reserved.

アンディ・ウォーホル プログラム

スクリーンテスト
アンディ・ウォーホルの
最も美しい女性たち (4人版)
Four of Andy Warhol's
Most Beautiful Women

16分 | 16fps | 16mm | 無声 | 白黒

数多く撮影された「スクリーンテスト」シリーズから編集された一篇。スーパースターになる「見込みのある」4人にスクリーンテストのポーズをとらせ、固定カメラから撮影することで、人物とその周囲の時間をフィルムに定着させる。

1964-70 監・脚 | アンディ・ウォーホル
出 | ペイビー・ジェーン・ホルツァー, アン・ブキャナン, アイヴィ・ニコルソン, サリー・カークランド

©2014 The Andy Warhol Museum, Pittsburgh, PA, a museum of Carnegie Institute. All rights reserved.

ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ
The Velvet Underground and Nico

66分 | 16mm | 白黒
ウォーホルのプロデュースによってデビューした伝説的バンド、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコの「ファクトリー」でのセッションを定点から観察する。時折セッションに参加するように、カメラは激しく揺れ、ズームする。ニューヨーク市警関入のハプニングもそのまま、ライブの時間の流れを提示する。

1966 監・出 | アンディ・ウォーホル
監・脚 | ボール・モリシー 脚 | パー・バラ・ルービン
音 | ヴェルヴェット・アンダーグラウンド
出 | ニコ, ルー・リード, ジョン・ケイル

©2014 The Andy Warhol Museum, Pittsburgh, PA, a museum of Carnegie Institute. All rights reserved.

バンド・ワゴン
The Band Wagon

112分 | 35mm | カラー
監督ヴィンセント・ミネリ、主演フレッド・アステアによる、MGMミュージカル映画の最高峰。アステア演じるトニー・ハンターは、かつての栄光再びと旧友のマーティン夫妻が書き上げたミュージカルの舞台化を目指す。劇中曲「ザッツ・エンターテインメント」は後年のアンソロジー映画の題名にもなった。

1953 (MGM) 監 | ヴィンセント・ミネリ
原・脚 | ベティ・カムデン, アドルフ・グリーン
脚 | ハリー・ジャクソン
美 | セドリック・ギボンズ, プレストン・エイムズ
音 | アドルフ・ドイチ
出 | フレッド・アステア, シド・チャリシー, オスカー・レヴァント, ナネット・ファブレイ, ジョック・ブキャナン, ジェイムズ・ミッチェル, ロバート・ギスト, サーストン・ホール, エヴァ・ガードナー, リロイ・ドニエルズ, ジャック・テスラー

27日(土) 15:50-17:42

バンド・ワゴン
The Band Wagon

112分 | 35mm | カラー
監督ヴィンセント・ミネリ、主演フレッド・アステアによる、MGMミュージカル映画の最高峰。アステア演じるトニー・ハンターは、かつての栄光再びと旧友のマーティン夫妻が書き上げたミュージカルの舞台化を目指す。劇中曲「ザッツ・エンターテインメント」は後年のアンソロジー映画の題名にもなった。

1953 (MGM) 監 | ヴィンセント・ミネリ
原・脚 | ベティ・カムデン, アドルフ・グリーン
脚 | ハリー・ジャクソン
美 | セドリック・ギボンズ, プレストン・エイムズ
音 | アドルフ・ドイチ
出 | フレッド・アステア, シド・チャリシー, オスカー・レヴァント, ナネット・ファブレイ, ジョック・ブキャナン, ジェイムズ・ミッチェル, ロバート・ギスト, サーストン・ホール, エヴァ・ガードナー, リロイ・ドニエルズ, ジャック・テスラー

©2014 The Andy Warhol Museum, Pittsburgh, PA, a museum of Carnegie Institute. All rights reserved.

ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ
The Velvet Underground and Nico

66分 | 16mm | 白黒
ウォーホルのプロデュースによってデビューした伝説的バンド、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコの「ファクトリー」でのセッションを定点から観察する。時折セッションに参加するように、カメラは激しく揺れ、ズームする。ニューヨーク市警関入のハプニングもそのまま、ライブの時間の流れを提示する。

1966 監・出 | アンディ・ウォーホル
監・脚 | ボール・モリシー 脚 | パー・バラ・ルービン
音 | ヴェルヴェット・アンダーグラウンド
出 | ニコ, ルー・リード, ジョン・ケイル

©2014 The Andy Warhol Museum, Pittsburgh, PA, a museum of Carnegie Institute. All rights reserved.

ニューマン劇場のお笑い漫画
Newman Laugh-O-Grams

3分 | 23fps | 35mm | 無声 | 白黒

1920 (ラフオグラム) 監・出 | ウォルト・ディズニー

悲しきよごんには
Bonjour Tristesse

94分 | 35mm | 白黒 / カラー
フランソワーズ・サガンのベストセラー小説の映画化。南仏で父と夏を過ごす17歳のセシル。父が亡き母の友人アンヌと結婚すると知ったセシルは、二人の仲を裂こうとするが、それが思わぬ悲劇を招く。ジーン・セバークのショートヘアが「セシルカット」として大流行、ジュリエット・グレコが唄う主題歌もヒットした。

1911 (バイオグラフ) 監 | オットー・プレミンジャー
原 | フランソワーズ・サガン 脚 | アーサー・ローレツ
脚 | ジョルジュ・ベリナル 美 | ロジャー・ファース
音 | ジョルジュ・オリック
出 | デボラ・カー, デヴィッド・ニーヴン, ジーン・セバーク, ミレーヌ・ドモンジョ, ジェフリー・ホーン, ジュリエット・グレコ, ヴァルテル・キアリ, マーティン・ハント, ローランド・カルヴァー

1912 (バイオグラフ) 監 | D・W・グリフィス
脚 | マック・セネット 脚 | G・W・ピッツァー
出 | ブランチ・スウィート, フランシス・J・グランドン, エドワード・ティロン, ジョージ・ニコルズ, ジョセフ・グレイビル, デル・ヘンダーソン

男の友情
Friends

13分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒
メアリー・ピックフォードやライオネル・バリモア後のビッグ・スターを配した一巻もの。西部の金鉱町を舞台に孤児の少女を巡る三角

28日(日) 14:00-15:37

ニューマン劇場のお笑い漫画
Newman Laugh-O-Grams

3分 | 23fps | 35mm | 無声 | 白黒

1920 (ラフオグラム) 監・出 | ウォルト・ディズニー

悲しきよごんには
Bonjour Tristesse

94分 | 35mm | 白黒 / カラー
フランソワーズ・サガンのベストセラー小説の映画化。南仏で父と夏を過ごす17歳のセシル。父が亡き母の友人アンヌと結婚すると知ったセシルは、二人の仲を裂こうとするが、それが思わぬ悲劇を招く。ジーン・セバークのショートヘアが「セシルカット」として大流行、ジュリエット・グレコが唄う主題歌もヒットした。

1911 (バイオグラフ) 監 | D・W・グリフィス
脚 | マック・セネット 脚 | G・W・ピッツァー
出 | ブランチ・スウィート, フランシス・J・グランドン, エドワード・ティロン, ジョージ・ニコルズ, ジョセフ・グレイビル, デル・ヘンダーソン

男の友情
Friends

13分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒
メアリー・ピックフォードやライオネル・バリモア後のビッグ・スターを配した一巻もの。西部の金鉱町を舞台に孤児の少女を巡る三角

1912 (バイオグラフ) 監 | D・W・グリフィス
脚 | マック・セネット 脚 | G・W・ピッツァー
出 | ブランチ・スウィート, フランシス・J・グランドン, エドワード・ティロン, ジョージ・ニコルズ, ジョセフ・グレイビル, デル・ヘンダーソン

男の友情
Friends

13分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒
メアリー・ピックフォードやライオネル・バリモア後のビッグ・スターを配した一巻もの。西部の金鉱町を舞台に孤児の少女を巡る三角

1912 (バイオグラフ) 監 | D・W・グリフィス
脚 | マック・セネット 脚 | G・W・ピッツァー
出 | ブランチ・スウィート, フランシス・J・グランドン, エドワード・ティロン, ジョージ・ニコルズ, ジョセフ・グレイビル, デル・ヘンダーソン

男の友情
Friends

13分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒
メアリー・ピックフォードやライオネル・バリモア後のビッグ・スターを配した一巻もの。西部の金鉱町を舞台に孤児の少女を巡る三角

1912 (バイオグラフ) 監 | D・W・グリフィス
脚 | マック・セネット 脚 | G・W・ピッツァー
出 | ブランチ・スウィート, フランシス・J・グランドン, エドワード・ティロン, ジョージ・ニコルズ, ジョセフ・グレイビル, デル・ヘンダーソン

男の友情
Friends

13分 | 18fps | 35mm | 無声 | 白黒
メアリー・ピックフォードやライオネル・バリモア後のビッグ・スターを配

FILMS

NFC所蔵作品選集

MoMAK FILMS

2015.04 — 06

NFC所蔵作品選集

MoMAK FILMS

2015 04 April
06 June

Information

上映時間 各回14:00-18:00頃 (開場は13:30)

上映作品は予告なく変更する場合があります。
上映作品、各回のスケジュールについては京都国立近代美術館HPにてご確認ください。
www.momak.go.jp/films/

料金 1プログラム520円(当日券のみ)
*当日に限り、本券でコレクション展もご覧いただけます。

会場 京都国立近代美術館 1階講堂

先着100席

入場券は会場入口にて販売します。
当日13:30より当日分のすべての作品の整理番号つき入場券を販売、開場します。各回入替制です。
2回目は上映開始の10分前に開場します。
会場内での飲食はご遠慮ください。

主催 京都国立近代美術館(MoMAK)
東京国立近代美術館フィルムセンター(NFC)



企画協力 北小路隆志(映画評論家/京都造形芸術大学准教授)
板倉史明(神戸大学大学院准教授)

Exhibition

同時開催中の展覧会

現代美術のハードコアはじつは世界の
宝である展 ヤゲオ財団コレクションより

会期 2015年3月31日[火]—5月31日[日]

ポスターにみる ミュージカル映画の世界

会期 2015年6月6日[土]—8月16日[日]

北大路魯山人の美 和食の天才

会期 2015年6月19日[金]—8月16日[日]



極地征服

access

京都国立近代美術館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
TEL 075 761 4111
www.momak.go.jp



- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 若倉行
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)銀閣寺行
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 若倉行
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 平安神宮行
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山三条・岡崎公園口」または
「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分

MoMAK F Column

今日の「映画状況」をめぐる

ロラン・バルトによる美しいエッセイ、「映画館から出て」の冒頭部分を引用する。「今語っている主体は認めるはずである。自分は映画館から出るのが好きだということ。街灯のともった、人もまばらな通りに出て(彼が映画館に行くのは、いつも、ウィークデーの夜である)、物憂げに、適当なカフェに向かう。黙ったまま(彼は今見たばかりの映画について語るのがあまり好きでない。いくらかぼんやりと、首をすくめ、寒そうに、要するに、眠そうに。…)」(沢崎浩平訳)

それなりの熱心さで映画館に通う者なら誰しも思い当たるふしのある、映画を観終えたあとの「催眠術」にかかったような軽い脱力状態…。しかし、それは必ずしも映画を観る体験そのものに因るものではない。バルトによれば、都市を歩する者は映画の観客になる前から「映画状況」に飲み込まれ、映画館を後にしてもその余韻から抜け出せずにいる。かれらはその不断の運動状態にあって「映画状況」を生きているのだ。

この文章が僕らにとって興味深いのは、「映画館の闇」へのフェティッシュな偏愛が告白される一方で、そこからの解放(映画館から出ること)の

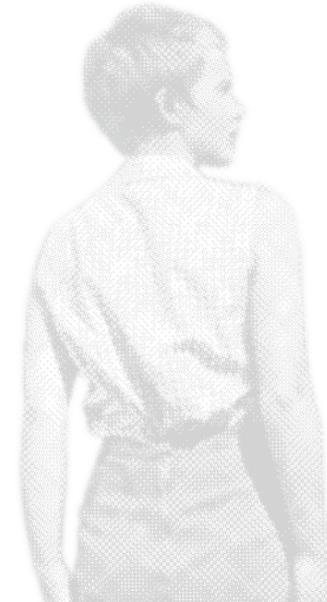
快楽や意義も強調される点にある。いまや映画を観るうえでの特権的かつ独占的な空間としての「映画館の闇」の覇権は壊滅的に揺らぎ、「映画館の外」に映画(らしきもの)が溢れかえる(バルトが「映画館」と敵対する空間とした「家庭」から、人が携帯するもろもろの小さな画面まで)。一九七五年の時点でバルトが記した「映画状況」のリテラルな意味での全面化を、僕らはいま経験しつつあるのだろうか。

それでも存続するであろう映画館は、すべての行為や事物が美的なもの(アート=個性的なライフスタイル!)と化したポストモダンの社会における美術館に近づくのではない。無数の美的な行為や事物のなかから、これがアートであり、それは違う…と選別を遂行したうえで囲い込む美術館と似た役割を、今後の映画館は担うのではない。だとすれば、美術館で映画を観る体験とはなにか。

京都国立近代美術館で映画を観終えたあなたの前には、観光客で賑わう雑踏が広がり、「適当なカフェ」を探し当てることも困難かもしれない。しかしそもそも美術館が「映画館の外」であることを忘れずにいよう。フィルムでの上映が映画館の条件、との原理に忠実を期すなら京都国立近代美術館こそが(シネコンの類よりも)真正な映画館であるかもしれない逆説も含め、美

術館で映画を観ることは、今日の「映画状況」への深々とした参与にして、それについての思考を育むための実践となるはずだ。

北小路隆志
(映画評論家、京都造形芸術大学准教授)



MoMAK F Column

映画コレクションから見える
フィルムの循環と異文化受容

複製芸術である映画のフィルムは、容易に国境を超えて流通してきた。そのため映画が製作された国ではすでに「失われてしまった」と思われていた映画のフィルムが、他国において発見され、「里帰り」を果たすことも珍しくない。例えばドイツで製作されたSF映画の古典『メトロポリス』(フリッツ・ラング、1927年)のオリジナル・バージョン(153分)のフィルムは現存しないが、世界各国に配給されたフィルムがいくつかの国で発見され(最近では2008年にアルゼンチンで発見)、そのたびに各時代の「最長版」が復元されてきた。現在ではほぼオリジナルに近い148分版を見ることが出来る。

日本映画に関していえば、戦前・戦中に製作された多数の日本映画のフィルムが、1960年代末にアメリカ議会図書館から「里帰り」し(「返還映画」コレクション)、さらには1990年代にロシアの国立フィルム・アーカイブからも「里帰り」した(「ゴス・フィルム・アーカイブ」コレクション)。第二次世界大戦という政治状況によって映画フィルムが国境を超えて循環し、その結果として、海外で貴重な日本映画の

フィルムが大切に守られてきたのである。また映画フィルムは、好事家たちによって熱心に蒐集されてきた。東京国立近代美術館フィルムセンター(以下、フィルムセンター)には、いくつかの世界的な個人コレクションが収蔵されている。今回MoMAK Filmsに登場するのは、世界の映画ファンやアーキivistから注目されてきた小宮登美次郎(1897-1975)のコレクション(3プログラム)と、フィルムセンターの主幹として日本のフィルム保存に尽力するとともに自身が映画コレクターでもあった鳥羽幸信(1916-1992)のコレクション(1プログラム)である。

浅草の料亭の息子として生まれた小宮は、青年時代に愛した1910年代のヨーロッパ映画を主に蒐集し、戦争中は一部のフィルムを「疎開」させて守り抜いてきた人物である。小宮コレクションの特徴は、のちの時代にコピーされたフィルムを蒐集したのではなく、1910年代に実際に映画館で上映されたフィルムそのものを蒐めた点である。初期の映画フィルムには、一コマごとに手作業で丹念に色をつけたり(ステンシル・カラー)、フィルム全体を染料で染めたり(染色)、化学変化によって色をつける技術(調色)がほどこされていた。世界中に現存するこの時代の映画の多くは、後年白黒フィルムにコピーされたものであることを考えれば、小宮コレクションの価値を容易に推測できるだろう。また小宮コレクションには、ヨーロッパ本国に

おいてすでに「失われた」と思われてきた映画のフィルムが複数含まれている。今回上映する『さらば青春』(1918年)もその1本であり、2014年にフィルムセンターとイタリアの2つのアーカイブが共同でデジタル復元を行ったばかりである。

いっぽう鳥羽コレクションの特徴は、日本における外国映画の受容の歴史が透けて見える点にある。1911年のフランス映画『ジゴマ』は、青少年に対する映画の影響力について日本人が議論するきっかけを作った有名な作品である。また、『巨人征服』(1923年)はハロルド・ロイドが主演するアメリカのサイレント喜劇であるが、鳥羽コレクションのフィルムは、1930年代に日本で独自に再編集され、活動弁士(説明者)のナレーションがサウンドトラックに吹き込まれた珍しいバージョンである。無声映画時代に日本全国の映画館で活躍した弁士の語りを追体験できる貴重な機会であるとともに、日本人のアメリカ文化受容を知ることのできる具体例としても興味深い素材であろう。

* 詳細は拙稿「フィルム・アーカイブにおける映像資料の保存と復元—歴史学にとっての映画」(『歴史評論』715号、2009年11月、歴史学協議会、41-54)を参照。

板倉史明(神戸大学大学院准教授)